



伊藤蘭林の功績を伝えようと設置された石碑  
(佐川町甲)

## 伊藤蘭林の功績 後世に

### 佐川町で石碑除幕

【佐川】幕末から明治初期にかけて、高岡郡佐川町で多くの人材を育てた教育者、伊藤蘭林（1815〜95年）の功績を記した石碑がこのほど、同町甲にある蘭林の墓所近くに設置された。関係者約50人が集まり、除幕式が行われた。

蘭林は佐川の領主、深尾家が設立した「名教（めいこう）館」で教授を務めたほか、私塾も開き、植物学者の

牧野富太郎らを育てた。石碑は昨年実施された蘭林生誕200年記念行事の一環として、設立50周年を迎えた佐川越知ライオンズクラブ（岡林増樹会長）が建立した。

碑は3基あり、それぞれに、蘭林の薫陶を受けた宮内大臣の田中光顕ら著名人の名や、蘭林が詠んだ「春の野に永き日暮し乙女らの誰とすみれの花をつむらん」などが記されている。

除幕式では、蘭林の菩提（ぼだい）寺、乗台寺の種田快盛住職が「蘭林やその教え子たちの功績が、どのような形で今の町に受け継がれているか、検証が必要だ」などと訴えた。岡林会長は「蘭林の存在が後世に伝えられるようになれば」と期待していた。

（吉川博之）